

る資本主義の反對と干渉にもかかわらず戦争を完全に遂行す
るために軍需品の製作に全勢力を集中し軍備の擴張を圖つて
ゐる。従つて軍事工業（製鐵業）化学工業、炭坑等は最近好
景氣の現象を呈するに至つてゐるが失業者は尙ほ四十五萬人
（内務省の統計發表で余り信用は出來ぬ）に及んでゐる
では最近の就業労働者の賃銀の有様は何うであるか日銀統計
によると（六月現在調指数）

昭和八年八五、一 昭和七年八八、二 昭和六年平均九一、三
で昭和八年六月の賃銀指数は不景氣のドン底と言われた年よ
りも、六だけ低いのである之れは何を意味してゐるかと言へ
ば
一、重工業方面には熟練工が足りないと言つてゐるが事實は
そうでなく依然として、失業者の数が減らない

二、資本家は一度解雇したものを再び雇入る時には以前の賃
銀より安い賃銀で雇入れ殊に軍需工業では臨時雇として
雇入れそのために特に安い賃銀で働らかせてゐるが
更に労働時間について以上の點から考へるならば（軍需工業
の活氣にかかわらず賃銀が安くそれは失業者の多いことによ
り）労働者は永い時間極度に労働を強要されてゐることとな
る

最近労働者の雇入につき体格検査を嚴重にしてゐるのは勞
働強化に耐へ得る者を條件としてゐるのであつて久留米市
例の日本足袋會社タイヤ工場では身長五尺五寸以上、体重二
十貫以上の者でなければ採用せぬ

斯くの如く仕事にありついた労働者も安い賃金と永い時間働
らかされなく、奴隷の様に酷使され資本家のみが戦争準備の